
光市おっぱい都市基本構想



みつめ だきしめ かたりあう

～心温かい人が育つまち“ひかり”～

平成 20 年（2008 年）3 月



光 市

おっばい都市宣言

- 1 私たちは、おっばいをとおして、“母と子と父そして人にやさしいまち光”をつくれます。
- 2 私たちは、おっばいという胸のぬくもりの中で、子どもをしっかりと抱き、愛しみ、心豊かで健やかな輝く光っ子を育てます。
- 3 私たちは、すべての母親のおっばいが、より豊かに赤ちゃんに与えられるよう皆で手助けします。
- 4 私たちは、おっばいを尊び、偉大なる母を皆で守ります。

「おっばい」何と温かく、優しい言葉でしょう。「おっばい」をとおした母と子の穏やかなふれあいは、真に生きる力を持つ、心豊かでたくましい若者を育ててくれることでしょう。

そして、この若者たちが“母と子と父そして人にやさしいまち光”で子育てを楽しみながら、このまちに住み、まちとともに輝くことを夢みて、ここ光市を「おっばい都市」とすることを宣言いたします。

平成 17 年 6 月 30 日 山口県光市議会

「みつめ だきしめ かたりあう」

心温かい人が育つまち“ひかり”の実現に向けて



本市では、全国にも先進的な「おっばい都市宣言」を柱として、胸で子どもを抱きしめる愛情豊かなふれあいの子育てを推進するとともに、平成19年3月に策定した「光市総合計画」において、特に優先すべき戦略的なプランとして掲げた「おっばい都市推進プラン」に基づき、健やかな子どもを生み育て、いつでも安心して暮らせるまちづくりを進めています。この思いを市民の皆さんと共有し、目標に向かって進んでいけるよう、このたび、おっばい都市基本構想策定市民懇話会や議会、並びに関係者の皆様からの貴重なご意見、ご提案をいただき「光市おっばい都市基本構想」を策定いたしました。

改めて、関係者の皆様方に、心から感謝を申し上げます。

皆さんご承知のように、少子化問題をはじめ、子育てを取り巻く環境は厳しく、核家族化や人間関係の希薄化に伴い、家庭の孤立化が進み、子育てへの不安や負担感が高まるとともに、いじめやひきこもり、さらには、子どもたちが被害者となる犯罪の多発など、とりわけ子どもたちが健やかに育つ環境に大きな影を落としています。

こうした状況の中、本構想では、「みつめ だきしめ かたりあう」の基本理念のもと、社会全体で子育てを応援し、子どものみならず、すべての人が心豊かに育つ「おっばい育児」を推進する住みたいまち、住み続けたいと思えるまちづくりを目指すことにしています。

今後、この構想に基づき、これまで実施してきた子育て支援施策の検証を行いながら、市民の皆様とともに真に必要な子育て支援等を展開してまいりたいと考えております。

さあ、皆さん。「おっばい都市宣言のまち」光市に暮らす全ての子育て世代が、子どもを生み育てることに夢と希望を持ち、未来を担う子どもたちが父母や地域の愛情に包まれて育つまちづくりを進めようではありませんか。

子どもたちの未来のために。

平成20年（2008年）3月

光市長 末岡 泰義

目 次

1	策定の背景及び目的	1
	(1) 背景	1
	(2) 目的	1
2	基本構想の位置づけ	2
3	基本理念及び目指すべき姿	3
	(1) 基本理念	3
	(2) 目指すべき姿	3
	《おっばい育児とは》	4
4	施策の柱	6
	(1) 子育てを楽しみながら家族が育つ	6
	(2) すべての子どもが幸せに育つ	6
	(3) 子育てを大切にする地域が育つ	6
5	主要プロジェクトについて（おっばい都市プロジェクト）	7
	(1) ひかりゆとりプロジェクト	7
	(2) ひかり元気っ子プロジェクト	8
	(3) ひかり大好きプロジェクト	9
6	施策の推進にあたって	10
7	おっばい都市基本構想の体系図	12

1 策定の背景及び目的

(1) 背景

まちは元来、親族・地域社会の互助により、強い絆で結ばれ、人々は、お互いに支え合い協力しながら暮らしてきました。

しかし、近年の情報化・都市化の進展等により、人々が自由や気楽さを求めるあまり、地域における連帯感や公共心が希薄化しつつあります。また、核家族化や共働き世帯の増加による家庭での養育力の低下や育児不安の増加、さらには、少子化に伴う子ども同士のふれあいの機会の減少による子どもの自主性や社会性の低下など、子どもの健やかな成長に影響を与えていることが懸念されています。

こうした中、本市では、光市議会において平成17年6月「おっぱい都市宣言」を決議するとともに、光市総合計画において、まちづくりの基本理念を「共創と協働で育むまちづくり」とし、本市の将来像を実現するための特に優先すべき戦略的なプランの1つとして「おっぱい都市推進プラン」を掲げるなど、子育て世代が希望にあふれ、子どもたちが父母や地域の愛情に包まれて育つ、住みたい・住み続けたいと思えるまちづくりを社会全体で推進していこうとしています。

(2) 目的

まちづくりの基本は「人づくり」といわれる中、私たちは、人づくりの出発点である次代の社会を担う子どもたちが、いかにこのまちで成長していくかを考える必要があります。

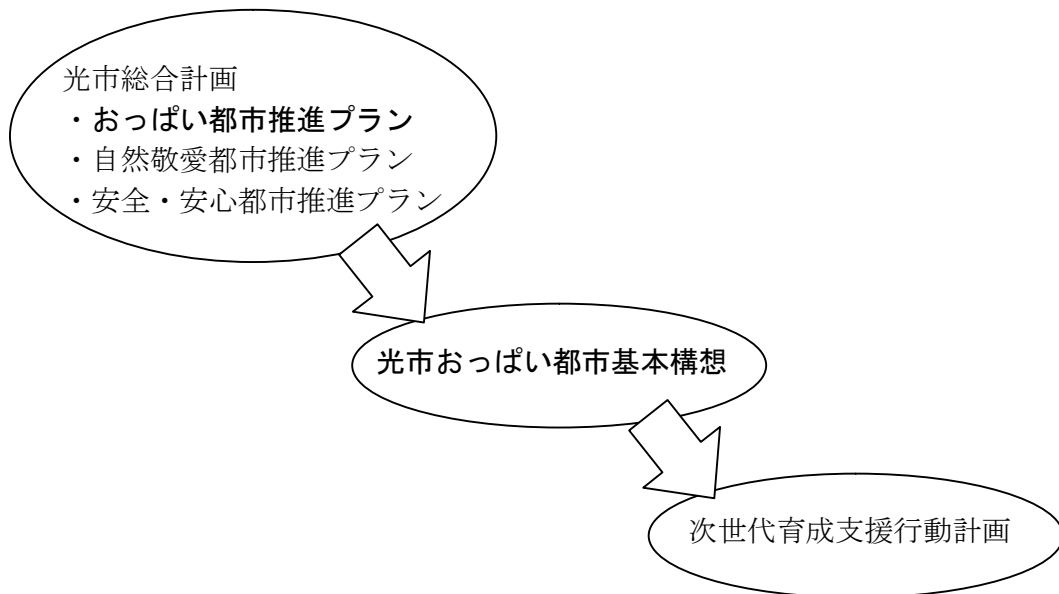
子どもが育ちやすい、子どもを育てやすい社会とは、愛情豊かな絆やふれあいにあふれたまちであり、それは、子どものみならず、大人にとっても住みたいまち、住み続けたいまちといえるのではないのでしょうか。

こうしたことから、「おっぱい都市宣言」の理念をすべての人が共有し、すべての人が心豊かに育つまちづくりを推進するための指針として、目標や施策の柱及び推進の方針等を明らかにした「光市おっぱい都市基本構想」を策定します。

2 基本構想の位置づけ

光市総合計画において、光市の将来像を実現するため、特に優先すべき戦略的なプランである「ひかり未来戦略」の一つとして「おっばい都市推進プラン」が掲げられています。

「光市おっばい都市基本構想」は、このプランを推進するための施策の方向性を示すものとして策定するものです。また、施策の行動計画として「光市次世代育成支援行動計画」が位置づけられます。



3 基本理念及び目指すべき姿



(1) 基本理念

みつめ だきしめ かたりあう

～心温かい人が育つまち“ひかり”～

(2) 目指すべき姿

私たちのまち光市は、白砂青松の「室積・虹ヶ浜海岸」や幽玄な「石城山」、母なる川「島田川」の雄大な流れなど、海・山・川からなる水と緑の自然環境に恵まれています。かつて先人は、この自然とともに生き、英知と努力により、今日の光市を築いてきました。人々は、こうした有形・無形の財産を大切にし、豊かな精神を育み、健全な地域社会を形成するとともに、後世に引き継いでいきます。そして、市民一人ひとりが尊重され、お互いを思いやり、健康で輝いた生活は、個々の市民の小さな単位から、家族、地域へと大きなうねりとなり、まちが成長していきます。この大きなうねりの出発点は、子どもがこのまちで祝福されて誕生し、愛情豊かに育っていくことにあるといえます。

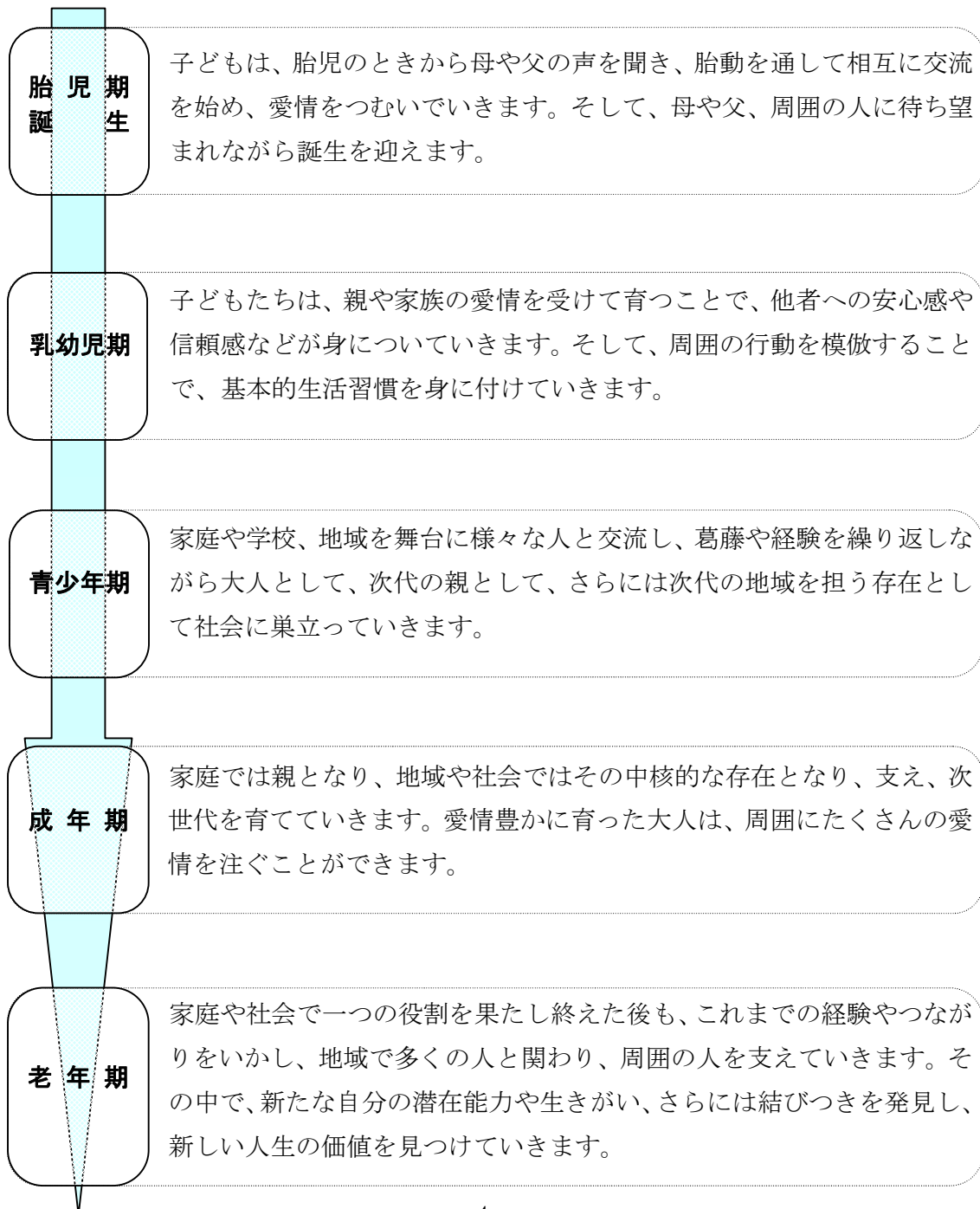
子どもは、ふるさとの自然や歴史・伝統文化に親しみ、学びや遊びの中でたくましく育ち、たくさんふれあいと多くの愛情に包まれた「おっぱい育児」を通して、地域への愛着や誇り、豊かな心をもった「心温かい人」へと成長します。そして、このまちで受けた恩恵を次の世代へと引き継ぎ、この連鎖がまちに広がり、人々は、地域での絆を深めるとともに、新たなふれあいをつむいでいきます。

私たちは、愛情豊かな絆やふれあいが、子どもをつくり、生み、育て、学び、働き、憩い、長寿を全うするまでの人々の営みの中で大切にされ、すべての人が充実した時を過ごせる、住みたいまち・住み続けたいまちを目指します。

《おっぱい育児とは》

「おっぱい育児」は、母乳が出る出ないにかかわらず、すべての人が子どもを胸に抱く、手で触れる、見守る、語りかける、子どもの声に耳を傾けるといった、愛情豊かなふれあいの子育てをいいます。「おっぱい育児」により、「温かい心」や「豊かな心」が育ちます。

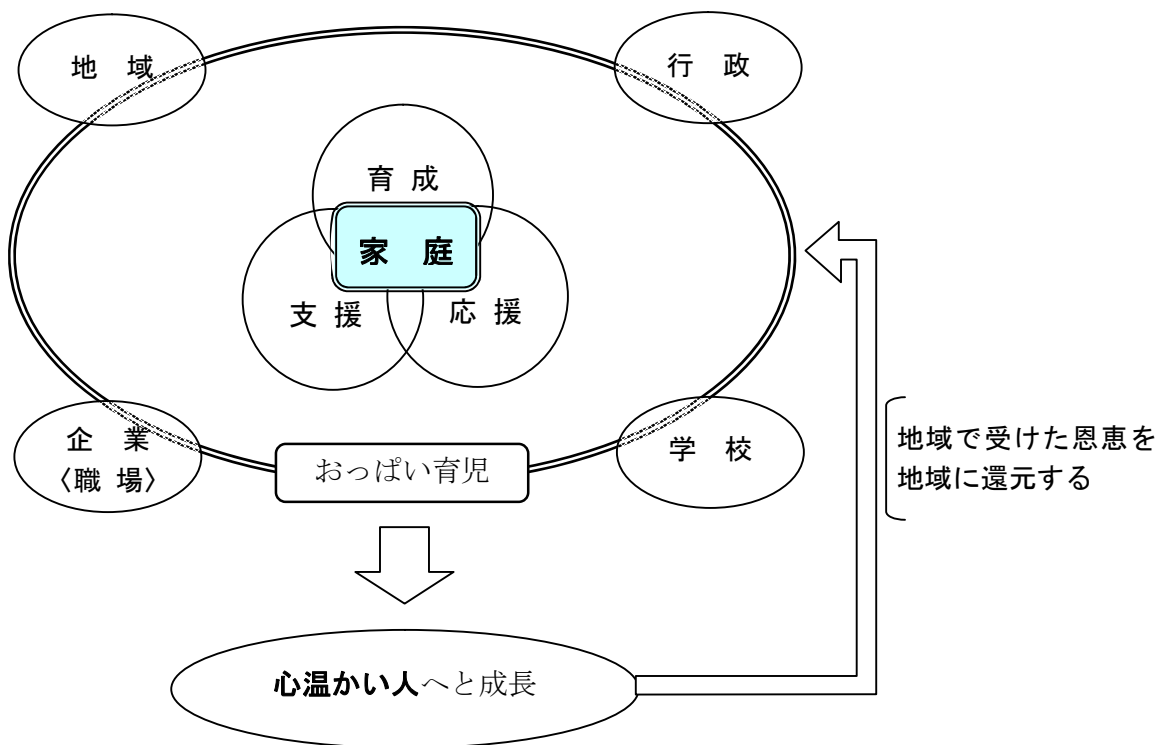
そして、子育てや子どもとの関わりを通して、すべての人が温かい心をもつ人へと成長することも、「おっぱい育児」は目指しています。



～おっばい育児概念図～



みつめ だきしめ かたりあう
 ～心温かい人が育つまち“ひかり”～



- ※支援・・・子育てを楽しみながら家族が育つ
- ※育成・・・すべての子どもが幸せに育つ
- ※応援・・・子育てを大切にする地域が育つ



4 施策の柱

(1) 子育てを楽しみながら家族が育つ

- 支 援 -

- ①ゆとりをもって安心して子育てを楽しめる環境
- ②父母ともに子育てと仕事の両立ができるための環境
- ③家族の絆・ふれあいを大切にし、成長できる環境



(2) すべての子どもが幸せに育つ

- 育 成 -

- ①地域の人々や自然とのふれあい、子ども同士の遊びを通して自らが育つ環境
- ②心身両面からのたくましく心温かい人づくりを推進し、青少年を健全に育てる環境
- ③子どもの知識や豊かな心の発達を育む魅力ある教育環境



(3) 子育てを大切にする地域が育つ

- 応 援 -

- ①地域のネットワークを通して子育てを楽しむ環境
- ②きめ細やかな配慮を必要とする子育て家庭への支援や子どもを育てようとする地域環境
- ③社会が新しいつながりをつむぎ、地域が元気になる環境



5 主要プロジェクトの推進について（おっぱい都市プロジェクト）

（1）ひかりゆとりプロジェクト

～家族みんなが笑顔で過ごせたらうれしいな～

- ①子育ての経済的負担感の緩和など安心して子育てができる施策の充実
（施策の展開例：保育料軽減、就学援助費、母子自立支援、乳幼児医療、未熟児養育医療等）
- ②子育てによる心理的負担感や閉塞感を緩和するための支援
（施策の展開例：子育て支援センター、チャイベビほっとサロン整備事業、妊婦相談、おっぱい相談等）
- ③多様な保育ニーズに応えるための施策の充実
（施策の展開例：特別保育の実施、各種保育施策、留守家庭児童教室等）
- ④企業・職場による子育て支援の推進
（施策の展開例：職場環境の改善等）
- ⑤家庭を大切にし、子育てを楽しむ意識の啓発
（施策の展開例：家族教室、パパの子育てノート事業、おっぱい冊子作成事業、家庭の日等）



(2) ひかり元気っ子プロジェクト

～いろいろな遊び・学習・体験ができたらうれしいな～

①多様な地域活動・世代間交流や体験活動の機会、遊びの場の充実

(施策の展開例：ものづくり体験事業、子どもの森整備事業公園・広場の整備等)

②子どもが親となるための準備施策の実施

(施策の展開例：思春期ふれあい体験等)

③子どもの生きる力をつちかう食育や生活習慣の定着、読書活動等の充実

(施策の展開例：食育子育て支援事業、チャイベビ食育事業、あいさつ運動、
「早寝・早起き・朝ごはん」運動等)

④心身ともに健やかに育つための保健・医療体制等の充実

(施策の展開例：母子保健事業、保健・医療ネットワーク構築、心の健康相談、
子どもと親の相談員、光っ子教育サポート事業、スクールライフ支援事業等)

⑤家庭や学校、地域と連携を取り、豊かな人間性や社会性を育む施策の充実

(施策の展開例：総合的な学習等)

⑥光の自然や文化、さらには地域の特色を活かした教育の充実

(施策の展開例：文化伝承学習、生涯学習等)



(3) ひかり大好きプロジェクト

～友達がいっぱいできたらうれしいな～

①子育てサークルなどの輪を通じた施策の充実

(施策の展開例：子育てサークル活動等)

②地域で子どもの誕生を祝うとともに、温かく子どもを見守り、大切にしようとする意識の醸成

(施策の展開例：すくすくメール事業、おっばいまつり、保育出前講座、みんなでハッピーバースデー事業、青少年健全育成事業、子ども見守り隊等)

③地域にある各種団体間の交流を深める施策の充実

(施策の展開例：幼稚園もみじ応援隊事業、各種団体や地域間の交流等)

④要保護児童に対するきめ細やかな取り組みの推進

(施策の展開例：児童虐待防止ネットワーク等)

⑤子育てを支援する生活環境の整備

(施策の展開例：おっばいコーナー設置、子どもにやさしいお店の紹介等)

⑥若者に魅力ある環境の整備

(施策の展開例：若者の出会い支援等)



6 施策の推進にあたって

本構想がめざす「心温かい人」があふれ、心豊かに育つ生き生きとしたまちづくりを進めていくためには、市民一人ひとりが、それぞれの役割を担っていく事が大切です。

子ども自身の育つ力を大切にしながら、家庭をはじめ地域社会や企業、行政などがそれぞれの役割を果たし、これまで以上に連携・協力した取り組みが必要となります。

【 家庭の役割 】

家庭は、親子の愛着関係の中で、他者への信頼感や基本的な生活習慣、さらには、社会のマナーなどを身に付けていくところです。また、子どもにとって家庭は、心の安らぎ・いやしの場でもあり、家族がしっかりと支え合うことが求められます。

【 地域社会の役割 】

市民一人ひとりが、地域や子どもにより関心を深め、温かく見守り、子育て支援や子どもの健全育成に参加するとともに、大人と大人、大人と子ども、子どもと子どもなどの多様なコミュニケーションの機会を充実し、様々な出会いを大切にしていけることが求められます。

【 学校の役割 】

一人ひとりに応じたきめ細やかな指導を充実することで、確かな学力を身につけさせるとともに、地域との連携を取りながら、異世代間の交流活動や地域活動を推進し、豊かな心を育成することが求められます。

【 企業・職場の役割 】

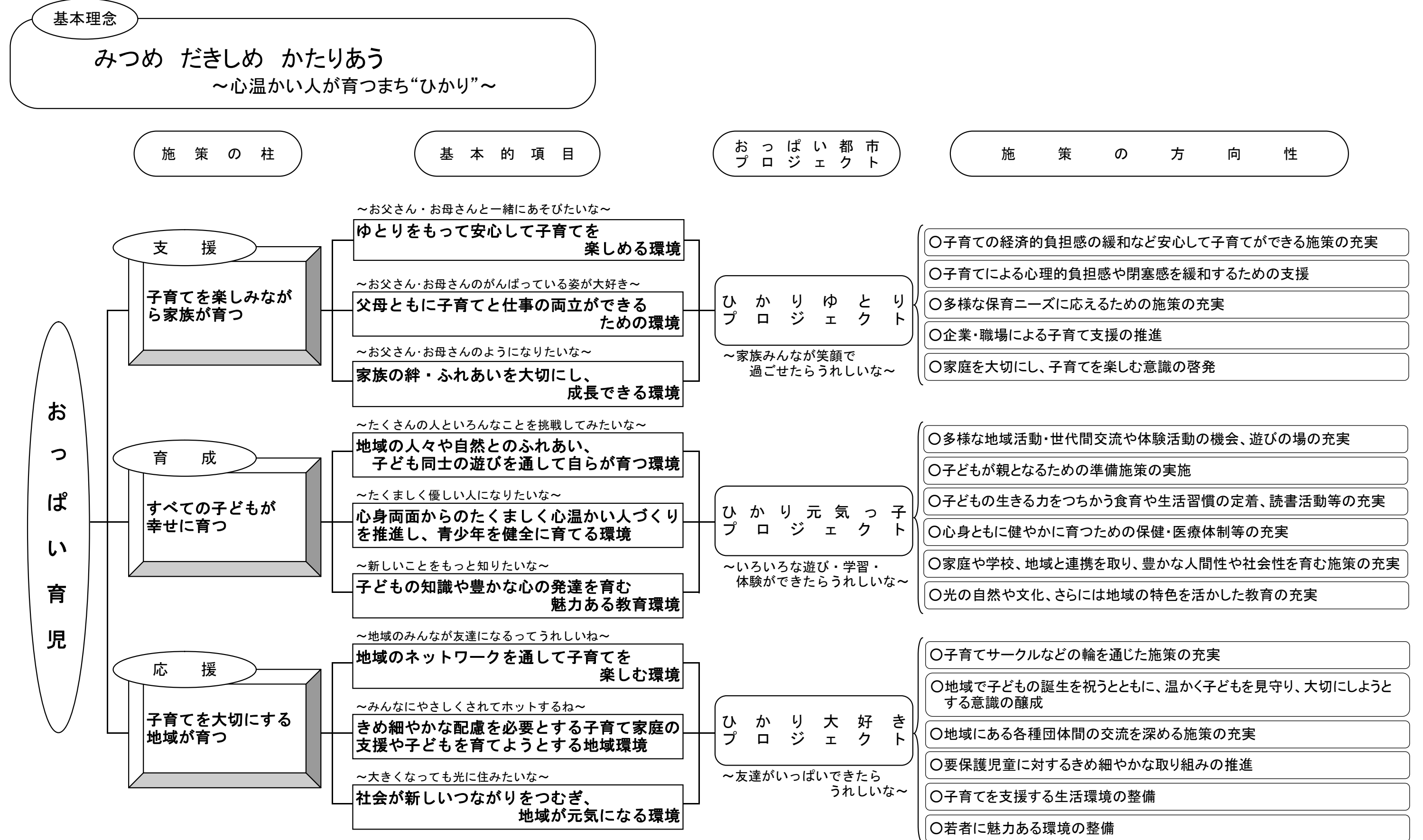
企業・職場も地域の一員であることを認識し、地域貢献活動を行っていくとともに、男女がともにゆとりを持って働くことのできる環境整備や、仕事と子育ての両立に理解のある職場づくりが求められます。

【 行政の役割 】

基本構想の普及・啓発に努めるとともに、市民ニーズを正しく把握し、施策に反映することが求められます。また、家庭や地域、企業等と連携・協働し、地域社会全体が心豊かに育つ生き生きとしたまちづくりを計画的に進めていきます。



おっぴ都市基本構想の体系図



光市おっぴ都市基本構想策定市民懇話会委員名簿

	氏名	区分	備考
1	杉野 寿子	児童福祉有識者	徳山大学福祉情報学部講師
2	細田 直子	教育関係者	山口県私立幼稚園協会
3	村田 妙子	教育関係者	光市小学校校長会
4	富永 泰壽	教育関係者	光市中学校校長会
5	渡邊 正善	児童福祉関係者	山口県保育協会光支部
6	阿武 みどり	児童福祉関係者	主任児童委員
7	廣田 修	医療関係者	光市医師会
8	鈴木 美代子	医療関係者	光市歯科医師会
9	木村 一恵	医療関係者	看護師
10	藪崎 寿子	母子保健関係者	光市母子保健推進協議会
11	奥 貞子	母子保健関係者	管理栄養士
12	増本 佳治	老人福祉関係者	光市老人クラブ連合会
13	山近 和浩	企業関係者	連合山口光地域協議会
14	徳原 信之	企業関係者	新日鐵住金ステンレス株式会社
15	輿石 卓磨	企業関係者	武田薬品株式会社光事務所
16	繁 徹範	子育て関係者	光青年会議所
17	松浦 浄枝	子育て関係者	子育てサークル会員
18	竹田 僚子	子育て関係者	小学校PTA
19	柚木 貴晴	公募委員	
20	田中 健司	公募委員	

事務局：光市福祉保健部子ども家庭課

光市おっぱい都市基本構想

発行日：平成20年3月

発行：山口県光市

〒743-0011

山口県光市光井2丁目2番1号

光市総合福祉センター「あいぱーく光」

TEL 0833-74-3092

<http://www.city.hikari.lg.jp>

編集：光市福祉保健部子ども家庭課